

## ビーチサッカーとサッカー、フットサルの違い(競技規則)

項目	ビーチサッカー	サッカー	フットサル
ピッチの大きさ(標準)	28m×37m	68m×105m	20m×40m
ピッチの表面(標準)	深さ40cmの砂	芝	木、人工材質
ゴール	2.2m×5.5m	2.44m×7.32m	2m×3m
ボール	ビーチサッカー用5号球	5号球(U13は、4号球)	4号球でローバウンド
選手の用具	はだし(サポーターの着用可、すね当てなし)	スパイク	体育館用シューズ
選手の数	5人	11人	5人
交代要員	5人	7人登録のうち3人まで	7人
交代の方法	自由(交代ゾーンで交代する競技者の番号を示して)	アウトオブプレーの時審判の承認を得て3人まで	自由(交代ゾーンを用いて)
審判	主審、第2審判、第3審判、タイムキーパー	主審、副審、第4の審判	主審、第2審判、第3審判、タイムキーパー
試合時間	12分間のピリオド X 3回	45分ハーフ	20分ハーフ
時間の計測方法	得点后、FKやPK時、審判員が停止のシグナルをしたとき以外ランニングタイム	ランニングタイム(主審が計測)	プレーイングタイム
	(タイムキーパーが計測)		(タイムキーパーが計測)
タイムアウト	なし	なし	前後半1回ずつ(各1分間)
ボールがでたら			
・タッチラインから	ボールインバウンド(キックインかスローインの選択)	スローイン	キックイン
・ゴールラインから	ゴールクリアランス/コーナーキック	ゴールキック・コーナーキック	ゴールクリアランス/コーナーキック
オフサイド	なし	2人の守備側競技者がいない場合	なし
直接FKとなる反則	すべての反則に直接FKが与えられる(自分のハーフからのFKに対して:ボールと相手の両ゴールポスト間にGK以外入れない。相手ハーフからのFK:GK以外全ての競技者はボールより後方に位置する)	キッキング、トリッピング、プッシング、チャージング、ストライキング、タックリング、ジャンピングアット、ホールディング、スピットイング、ハンドリング	サッカーと同じ
間接FKとなる反則	なし	オフサイドやゴールキーパーがボールを一度放すと、もう一度手で扱えないなど	ゴールキーパーへのリターンパスなど
反則の累積	反則は、累積されない	反則は、累積されない	直接FKに値する反則は累積され、6つ目の反則からは第2ペナルティマークなどからの壁なしのFK
退場後の措置	2分経過後、交代要員から補充できる	補充できない	2分経過後や得点された後に交代要員から補充できる
PK方式	最初の1組からサドンデス	5人ずつ行って、その後サドンデス	5人ずつ行って、その後サドンデス
キックオフ	直接得点することができない	直接得点することができる	直接得点することができない
壁の距離	5m	9.15m	5m
直接FKのキッカー	ファウルを受けた競技者がける(ハンドの反則などは誰がけても良い)	特定されない	特定されない
砂の利用	フリーキックなどのとき、足かボールで、砂の山をつくることできる。	—	—
ドロップボールの位置	必ずピッチの中央で行う	プレー停止時にボールのあった場所	プレー停止時にボールのあった場所
プレー時間の制限	プレーの再開(フリーキックなど)、GKのプレーはは5秒以内	GKは手でコントロールしてから6秒以内にボールを離す	プレーの再開(フリーキックなど)、GKのプレーは4秒以内